



# 社会から必要とされる 理工系大学院における リカレント教育

2018.3.10 (Sat) 13:30 >> 17:00

要申込み | 参加費無料

## 東京工業大学が目指す社会人教育とは

会場：フクラシア東京ステーション5階L会議室 | 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5F  
東京駅日本橋口徒歩1分、地下鉄大手町駅直結

東工大MOT イベント

検索

WEB:[https://educ.titech.ac.jp/isc/event\\_information/](https://educ.titech.ac.jp/isc/event_information/)

詳細・申込方法は裏面および  
環境・社会理工学院ウェブサイトをご確認ください

現代日本では、大学まで教育を受けて、新卒で入社、定年で現役を終え、  
老後の暮らしを送る、という旧来のライフスタイルが急速に変化しつつあります。

このため、リカレント教育（学び直し）の重要性が認識されてきています。

安倍総理が議長の「人生100年時代構想会議」報告ではリカレント教育の必要性が強調され、

大学でもリカレント教育のため多様な教育プログラムを開発・実施し、

産業振興と地域創生の核になることが求められる、と指摘されました。

今般、大学におけるリカレント教育：社会人教育の意義と必要性について議論しつつ

東工大の進めている技術経営教育や新しい博士課程等の社会人教育への取り組みについて紹介します。

基調講演

### 「現在における社会人教育の必要性」

中村 道治 (国立研究開発法人 科学技術振興機構 顧問)

講演・パネルディスカッション

### 「大学とビジネス教育の間の相乗作用：個人的な経験」

マイケル・ノートン (東京工業大学 特任教授)

「東工大の技術経営専門職課程の成果と新しい挑戦 —新たな社会人博士教育の提案」

藤村 修三 (東京工業大学 環境・社会理工学院 副学院長(研究・評価担当) 技術経営専門職学位課程 教授)

「社会人教育としてのエンジニアリングデザインプロジェクト」

齊藤 滋規 (東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 教授)

「働きながら学べるキャリアアップMOTプログラムの活動報告～10年間で1,000人超の社会人が受講～」

古俣 升雄 (東京工業大学 環境・社会理工学院 CUMOT特任助教)

モデレータ 岸本喜久雄 (東京工業大学 教授、環境・社会理工学院長) 司会進行 橋本正洋 (東京工業大学 教授)

# Recurrent education

# program

13:00 開場

13:30 開会挨拶

13:40 >>14:30 第一部 基調講演

Michiharu Nakamura



## 「現在における社会人教育の必要性」

中村道治

(国立研究開発法人科学技術振興機構 顧問)

イノベーション創造のための基盤整備を担う国の中核的機関である科学技術振興機構のトップを務めた。政策達成型研究開発、科学技術情報提供、次世代人材育成、科学技術コミュニケーションに携わる。1967年東京大学大学院理学系研究科物理 修士課程修了。株式会社日立製作所中央研究所理事・所長、同執行役副社長、取締役等を経て、2011年10月に科学技術振興機構 理事長に就任。2015年10月より現職。



14:30 >>17:00 第二部 パネルディスカッション

## 講演 「大学とビジネス教育の間の相乗作用：個人的な経験」

マイケル・ノートン (東京工業大学 特任教授)

Bristol大学で理学士号と博士号を取得。Imperial Chemical Industries (1970-74) の研究者となり、その後英国政府の科学担当に加わった。1989年に英国議会科学技術アドバイザーを設立し、東京の英国大使館で科学技術イノベーション顧問を務めた後、イノベーションと持続可能な開発の分野で東京工業大学の教授 (2004-6) を務め、2006年4月から信州大学イノベーションマネジメント学科教授、2012年に東北大学教授を経て、2015年東京工業大学の特任教授に就任



Michael Norton

Syuzo Fujimura



## 「東工大の技術経営専門職課程の成果と新しい挑戦 —新たな社会人博士教育の提案」

藤村修三 (東京工業大学 環境・社会理工学院 副学院長(研究・評価担当)、技術経営専門職学位課程 教授)

千葉大学理学部物理学科卒、同大学院自然科学研究科博士(工学)。富士通、富士通研究所、一橋大学等を経て2005年4月東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授、16年4月より現職。

## 「社会人教育としてのエンジニアリングデザインプロジェクト」

齊藤滋規 (東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 教授)

東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻修了。博士(工学)。2013年から1年間、スタンフォード大学にて、デザイン教育に関する知見を得る。現在、大学院生・社会人学生を対象とするPBL授業、エンジニアリングデザインプロジェクトの主担当を務める。



Shigeki Saito

Masuo Komata



## 「働きながら学べるキャリアアップMOTプログラムの活動報告 ～10年間で1,000人超の社会人が受講～」

古俣升雄 (東京工業大学 環境・社会理工学院 CUMOT特任助教)

法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻卒(経営学修士)。教育や人材育成関連の民間企業、早稲田大学IT教育研究所客員研究員等を経て2009年5月東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科特任助教、16年4月より現職。

## 全体討議

モデレーター

岸本喜久雄

(東京工業大学 環境・社会理工学院長、教授)

東京工業大学工学部機械物理工学科卒、同大学院修士課程修了。工学博士。東京工業大学助手、准教授を経て1995年教授、2012年同副学長(教育運営担当)、同大学院理工学研究科工学系長 工学部長。16年4月より現職。



Kikuo Kishimoto

進行

橋本正洋

(東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授)

東京工業大学工学部生産機械工学科卒、同大学院システム科学修了、東京大学工学系研究科博士後期課程修了。博士(工学)。通商産業省(現経済産業省)入省後、イノベーション政策、知財政策等を担当。2014年東工大に採用、現職。



Masahiro Hashimoto

## 東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系事務室

電話 03-3454-8912 (担当 國松) -8731 (松谷) または 橋本研究室 03-3454-8979 (担当 三井) 受付時間 平日10:30~17:15

参加を希望される方は、3月2日(金)までに、件名を「3/10東工大シンポジウム参加希望」とし、お名前・所属・e-mailアドレスをevent@mot.titech.ac.jpまでご連絡ください。

[https://educ.titech.ac.jp/isc/event\\_information/](https://educ.titech.ac.jp/isc/event_information/)

登録  
お問い合わせ